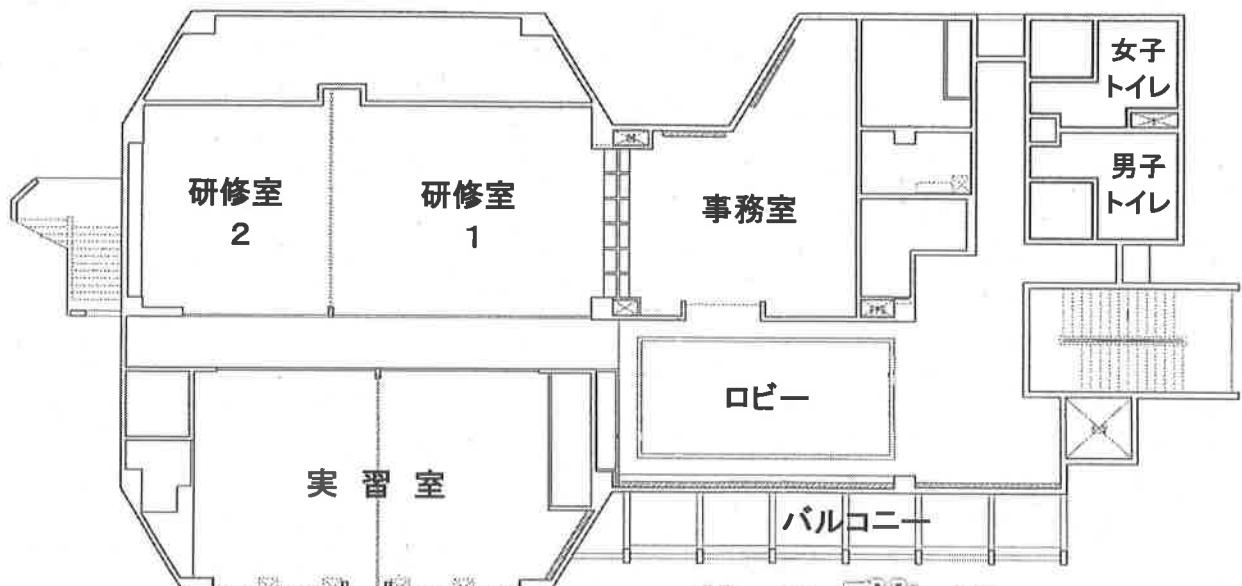


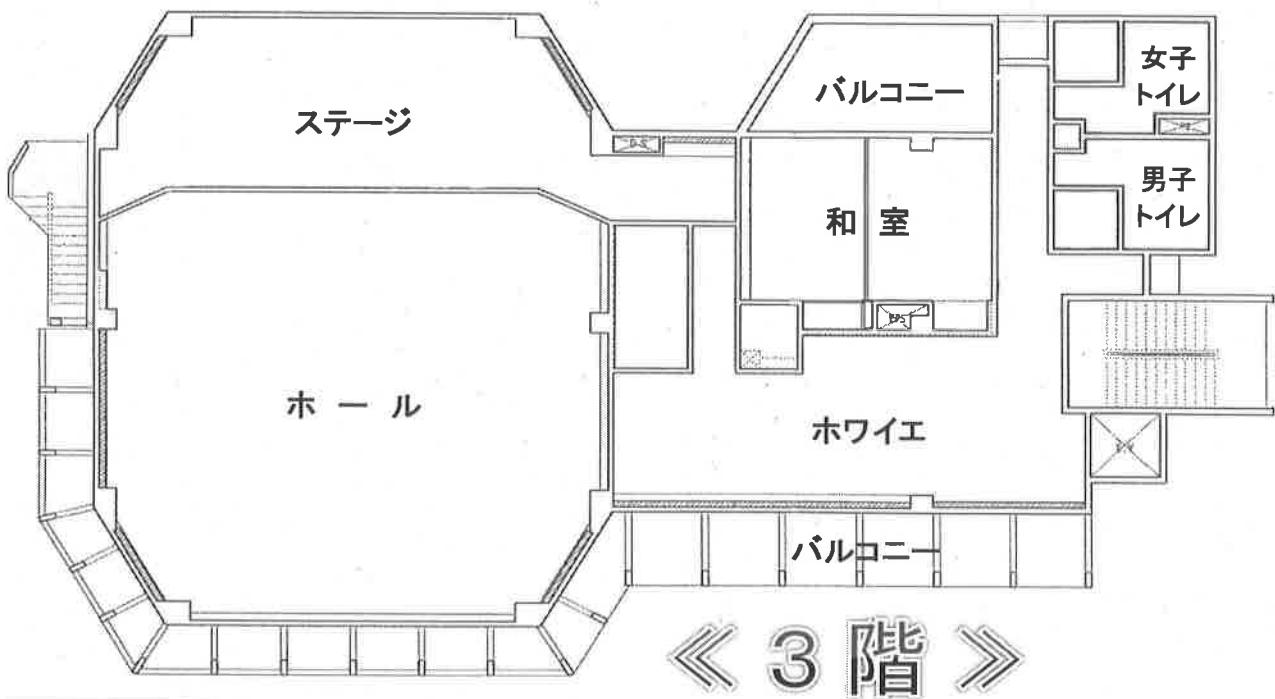
繁多川公民館



利 用 施 設 の ご 案 内



《 2 階 》



《 3 階 》

部屋名	収容人数	用途(備品)
ホール	200名程度	講演会・研修会・発表会(ピアノ・イス・テーブル)
和室	30名程度	茶道・生け花・和裁・着付け・舞踊(テーブル・姿見)
ロビー		談話・学習スペース(イス・テーブル)
研修室1	40名程度	研修会・講座・会議(イス・テーブル)
研修室2	25名程度	研修会・講座・会議(イス・テーブル)
実習室	25名程度	調理実習・研修会・講座・会議 (調理用器具・イス・テーブル)

I 繁多川公民館の沿革

「那覇市社会教育施設整備計画」（平成5年2月）に基づいて、那覇市で7番目の公民館として計画された繁多川公民館は、繁多川・真地・識名地区の生涯学習の拠点として、平成15年12月22日に建設が着手され、翌年の平成16年11月25日に竣工した。

施設の設計にあたっては、地域の方々の参加により開催されたワークショップの結果や、建設準備委員会からの要望を元に検討した結果、施設全体を段差のないつくりとし、広いエレベーターや階段対応のリフトを設置したユニバーサルデザインを探りいたした施設になっている。

周辺の環境整備に関しては、建設前の既存の木々を可能な限り残してみどりを確保するとともに、施設前や屋上に芝生の広場、屋上菜園等を設け施設の緑化に努めている。

また、大きな窓で採光を図るほか、屋上に降った雨を地下のタンクに貯水し、施設内のトイレ洗浄や散水に活用する等、環境に配慮した設計がなされている。

- 平成17年1月5日 社会教育・スポーツ課 開館準備グループ（主査 田島壽博、主査 名渡山桂子、主査 平良尚子、主任主事 上江洲寛）で開館準備を進めるなか、業務の一部をNPO法人なはまちづくりネット（代表 田端温代）に委託された。
- 2月10日 館長 田島壽博が発令された。
- 4月1日 那覇市繁多川公民館が発足された。
- 4月2日 繁多川公民館及び図書館の開館式が行われ、利用団体・サークルへの公民館施設の提供が開始された。
- 6月7日 開館記念講座「琉球漢詩とゆんたく話と詩吟」が開催された。
- 平成18年4月13日 繁多川公民館利用団体連絡協議会設立総会が開催された。
- 11月25日 第1回繁多川公民館まつり前夜祭（ダンスパーティー）が開催された。
- 11月26日 第1回繁多川公民館まつり開催。舞台発表や作品展示、活動紹介などが行われた。
- 平成19年4月1日 館長 田島壽博が配置替えにより、館長 宇根克が発令された。
- 11月24日 11月24日、25日の両日にわたって、第2回繁多川公民館まつりが開催された。
- 平成20年4月1日 委託期間の満了に伴う新規受託団体の企画提案書審査の結果、NPO法人なはまちづくりネット（代表 大城喜江子）への一部業務委託を継続することになった。
- 平成22年11月2日 第63回優良公民館として文部科学大臣表彰を受ける。
- 平成23年4月1日 館長 宇根克が配置替えにより、館長 新垣絹代が発令された。
- 平成23年4月1日 委託期間の満了に伴う新規受託団体の企画提案書審査の結果、NPO法人なはまちづくりネット（代表 大城喜江子）への一部業務委託を継続することになった。
- 平成25年3月28日 第14回「朝日のびのび教育賞」を受賞する。
- 4月1日 館長 新垣絹代が退職により、館長 高吉情次が発令された。
- 平成26年4月1日 委託期間の満了に伴う新規受託団体の企画提案書審査の結果、NPO法人1万人井戸端会議（代表 南信乃介）への一部業務委託をすることになった。
- 平成27年4月1日 指定管理者導入により、新規受託団体の企画提案書審査の結果、NPO法人1万人井戸端会議（代表 南信乃介）への指定管理者が決定する。
- 令和2年2月14日 第72回優良公民館として文部科学大臣表彰と相互評価特別賞を受ける。
- 令和3年1月吉日 第8回「全国公民館報コンクール 銀賞」を受賞する。

II 令和4年度繁多川公民館事業目次

1 学習風景（写真）	139
2 成人一般対象事業	
〔1〕成人講座	
◇貴重種キバナノヒメユリ保全プロジェクト	140
〔2〕健康講座	
◇安里めぐり	141
3 高齢者対象事業	
〔1〕高齢者学級	
◇脳を鍛えてチャーガンジュー	142
4 青少年対象事業	
〔1〕少年教室	
◇はんたがわプレーパーク	143
◇秋休み星空観察会	144
〔2〕青年講座	
◇おたすけ隊&インターンシップ受入れ	145
5 家庭教育事業	
〔1〕家庭教育学級	
◇繁多川おやこぞだて園	146
6 その他の事業	
〔1〕地域連携事業	
◇あたいぐわープロジェクト	147
◇識名園友遊会	148
◇真和志地区地域活性委員会	149
◇公民館フリースペース活用事業	150
◇識名小学校地域コーディネーター配置事業	151
◇学校連携 性教育授業	151
◇新春もちつき会	152
〔2〕学社融合事業	
◇キャリア教育プロジェクト	153
〔3〕プロポーザル事業	
◇コミュニティ支援『地域計画 教育部』	154
◇コミュニティ支援『地域計画 福祉・防災部』	155
◇コミュニティ支援『グローバル公民館』 エジプトとグローバルミーティング	156
7 公民館まつり	157

1 学習風景



健康講座
【安里めぐり】



高齢者学級
【脳を鍛えてチャーガンジュー】



少年教室
【はんたがわプレーパーク】



家庭教育学級
【繁多川おやこそだて園】



学社融合事業
【キャリア教育プロジェクト】



コミュニティ支援
【グローバル公民館】
エジプトとグローバルミーティング

2 成人一般対象事業

〔1〕 成人講座

貴重種キバナノヒメユリ保全プロジェクト

趣 旨：「大石公園」、「キバナノヒメユリ」という身近な自然を活かしながら自然観察や実習を通して自然保全に努め、コミュニケーション・連携の活発化から住民参画や市民性教育を推進する。その中で持続可能な経済活動を考える材料とし、地域の誇れる花として活性化につなげる。

期 間：通年

時 間：学習プログラムにて異なる（下記参照）

場 所：繁多川公民館及びその周辺

対 象：キバナノヒメユリ里親／地域住民

受 講 料：無料 定員：なし 参加延べ人数：27人

連 携：那覇市環境保全課、那覇市文化財課

★★ 学習プログラム ★★

期 日	内 容	連 携	人 数
8月31日(水)	自生地開花調査	那覇市文化財課	4人
8月～9月	里親による展示会	—	5人
8月～通年	キバナノヒメユリポストカード販売 売上金は保全活動に活用	キバナノヒメユリ里親	—
9月6日(火)	真嘉比小学校 贈呈式	真嘉比小学校	10人
9月7日(水)	自生地探索調査	—	5人
通年	里親配布、苗管理	—	3人



《 自生地探索の様子 》



《 真嘉比小学校の園芸クラブ 》



《 自生地 》

【まとめ】

今年度は、近隣の住民の方から「昔、あの場所でキバナノヒメユリを見たことがある。」という情報を得て、探索活動も行った。見分けがつく里親の皆さんにも協力してもらったが、草丈が高く確認することはできなかった。草刈り活動も行い、継続して調査することとなった。開花期には繁多川公民館のロビーにて展示し、来館する方々にこの地域で残された可憐な花を見ていただくことができた。里親の皆さんとの交流機会と播種、自生地管理をどういった方向で行うのかが今後、重要なてくる。

〔2〕 健康講座

安里めぐり

趣 旨：真和志地区自治会と共に、史跡文化財を巡り、町の魅力を再発見し健康増進に努める。
 期 日：令和5年3月25日（土）
 時 間：9:00～12:00
 場 所：安里地域
 対 象：那覇市在住・在勤・在学（親子参加可）及び興味関心のある人
 受講料：無料（資料代・保険代150円は自己負担）
 定 員：20人 申込人数：24人（うち受講決定人数24人） 参加延べ人数：17人
 講 師：真栄里 泰山 氏（おきなわ住民自治研究所理事長）、宮城 光也 氏（安里一区自治会長）
 玉井 栄良 氏（安里二区自治会長）
 共 催：真和志自治会長連絡協議会
 ★★ 学習プログラム ★★



《崇元寺 石門前》



《浮縄の御嶽》



《ウランダーやシキ跡》



《カンラガー》



《毛國鼎の墓》



《金満宮》



《琉球八社 安里八幡宮》

【まとめ】

当初は7月開催でしたが、新型コロナウィルス感染拡大に伴い延期を余儀なくされた。年度末ギリギリの3月開催となつたが小学生から高齢者まで、安里地区の史跡を練り歩いた。芋やトマト発祥の地と聞くと参加者からは『へえー そうだったんだ』と驚きの声が聞こえた。又、神徳寺では仲尾次住職による貴重な講話を伺うことができた。

3 高齢者対象事業

〔1〕 高齢者学級

脳を鍛えてチャーガンジュー

趣 旨：日本における65歳以上の認知症の人の数は約600万人（2020年現在）と推計され、2025年には約700万人（高齢者の約5人に1人）が認知症になると予測されており、高齢社会の日本では認知症に向けた取組が今後ますます重要になっている。
頭と身体を動かすことで、認知症予防と転倒防止などケガや病気の予防にも寄与する。

期 間：令和5年3月25日（土）

時 間：14：00～15：30

場 所：繁多川公民館 研修室1・2

対 象：65歳以上の方、興味・関心のある方

受 講 料：無料 **定員**：40人 **申込人数**：23人

参加延べ人数：23人

講 師 名：森近 孝幸 氏（理学療法士）

共 催：かず整形クリニック

★★ 学習プログラム ★★

- ・床に寝転がった状態で、簡単な動作を頭でイメージしながら行う体操



【参加者の声】

- ・頑張らないというのは素晴らしい。
- ・今日の講座を参考にして、今後の生活に活かしていきたい。
- ・頑張ることになっていたので、少し面をくらった。
- ・頑張らない講座を何度も続けてほしい。

【まとめ】

繁多川繁友会のご協力もあり、沢山の方が集まった。初めて公民館を訪れた方もいたので、公民館を知つてもらうきっかけにもなった。また、講師だけではなく共催のかず整形クリニックから補助に入ってくださる理学療法士の皆さんとの参加もあり、足腰が悪く横になれない参加者でも補助を受けながら講座に参加することができた。

講座後も、参加者からの満足度も高く、共催したかず整形クリニックのスタッフの皆さんも継続させたいとの思いからサークル化に向け動き出しているところである。

4 青少年対象事業

[1] 少年教室

はんたがわプレーパーク

趣旨：「自分の責任で自由に遊ぶ」をモットーに、身近な自然の素材や廃材、道具を使って子どもたちが自分で遊びを創り出すことのできる遊び場を提供し、子どもたちの自主性や冒険心を育むことを目指す。同時に、親を含めた地域の幅広い世代が集い交流しながら互いに技術や知恵を学びあったり情報交換して地域のつながりを深める場とする。また、継続していくことで、地域で世代を超えた顔見知りが増え、お互いに見守りあう意識を持てるようになり地域の安心安全につなげる。

期間：令和4年6月19日（日）～令和5年3月31日（金）

時間：10:00～12:00（夏休みは13:00～15:00）

場所：那覇市繁多川公民館広場、沖縄大学、識名小学校

対象：乳幼児から高齢者まで

受講料：無料

定員：なし

参加延べ人数：1,083人

共催：識名小放課後子ども総合プラン会議、識名小PTSA



《火起こし体験》

★★ 学習プログラム ★★

日 時	会 場	内 容	参 加 人 数
6月19日(日)	繁多川公民館 広場	泥んこ遊び、木工、ロープ遊び、昔遊び等	51人
7月25日(月) ～8月19日(金) 月・木・金	繁多川公民館 広場	<夏休みプレーパーク>手作りプール、泥んこ遊び、木工、ロープ遊び、火起こし、昔遊び、軽食提供等	233人
8月21日(日)	繁多川公民館 広場	<はんたの夢フェス>小学生有志が主催するプレーパークの祭り(ゲーム、駄菓子、かき氷等)、泥んこ遊び、木工、ロープ遊び、昔遊び等	149人
9月11日(日)	繁多川公民館 広場	泥んこ遊び、木工、ロープ遊び、昔遊び等	38人
10月14日(金)	繁多川公民館 広場	たき火で焼き芋、泥んこ遊び、木工、ロープ遊び、昔遊び等	71人
11月20日(日)	繁多川公民館 広場	看護大生による手洗い体験、射的ゲーム、泥んこ遊び、木工、ロープ遊び、昔遊び等	68人
12月11日(日)	沖縄大学 (子どもの権利条約フォーラム in 那覇/沖縄)	火起こし、たき火、ロープ遊び、落ち葉プール、木工、しゃぼん玉、昔遊び等	150人
令和5年 1月28日(土)	繁多川公民館 広場	泥んこ遊び、木工、ロープ遊び、昔遊び等	58人
2月19日(日)	繁多川公民館 広場	ムーチー作り、泥んこ遊び、木工、ロープ遊び等	76人
3月4日(土)	識名小学校	火起こし、たき火、ロープ遊び、木工、しゃぼん玉、昔遊び等	110人
3月31日(金)	繁多川公民館 広場	火起こし、たき火、ロープ遊び、木工、しゃぼん玉、昔遊び等	79人

【参加者の声】

わからないことを人に教えてもらうなど、人との交流や普段できないこと、色々な人から学ぶという体験を子どもたちができる場所だと感じた。

【まとめ】

今年度は、子どもの権利を体現する場所としてのプレーパークという視点も加えて展開することができた。小学校への初めての出張プレーパークは参加者が多く盛り上がったので継続していきたい。

秋休み星空観察会

趣 旨：夜の訪れがだんだんと早くなっていく秋の季節に、夜空を観察することの楽しさを知つてもらう。講師から星や月についてのお話を聞き、実際に望遠鏡で惑星等を観察することを通して宇宙や天体についての関心や知識を深める機会とする。また、翌月の皆既月食について事前学習することにより、後日家庭でじっくりと皆既月食の観察を楽しめるようなきっかけとする。

期 間：令和4年10月13日（木）

時 間：18:30～20:30

場 所：那覇市繁多川公民館 研修室・屋上

対 象：那覇市在住の小中学生とその親

受 講 料：無料（但し保険料は自己負担）

定 員：30人 申込人数：41人（うち受講決定人数41人） 参加延べ人数：41人

講 師 名：田端 研二（星空案内人 沖縄運営事務局長）
宇久 淳子（星のソムリエ 星空案内人）

★★ 学習プログラム ★★

【前半】星空についてのお話「季節の星とお月さま」

- ①秋の夜はどんな星が見えるのか？星座の種類や見つけ方のお話。
- ②11月8日の皆既月食を家庭で観察する方法、月食の仕組みについてのレクチャー。

【後半】望遠鏡を使って星空観察

大型の望遠鏡を使って月、土星、木星を観測する。肉眼で夏の大三角形を講師と一緒に探して確認する。



《講師のお話》



《大きな望遠鏡にワクワク》



《宇宙を身近に感じる瞬間》

【参加者の声】

- ・木星や土星が見れるなんて感動的でした。幼児向けの星空観察会もぜひ企画して欲しいです。
- ・2年生の子どもも実物が見れて興味がわいたようで、手元にあった本を片手に話を聞いていました。
- ・おすすめの本がわかつたので今後につなげたいです。
- ・空気がつきにいかないってすごいなと思いました。
- ・土星が絵みたいですごかったです。
- ・今度は流れ星特集をしてほしいです。

【まとめ】

子どもたちからの要望で企画した星空観察会で、反響が大きく募集を超える参加があった。ほとんどが親子参加で、講座の後に起こる皆既月食を各家庭で観察するポイントを教えてもらう、という「土産」をもたせることが今回は特に良かった。各家庭で講座の後も星について会話したり、実際に観察したりというアクションに結びつけられたのではないかと思う。

〔2〕青年講座

おたすけ隊＆インターンシップ受け入れ

趣旨：地域の小・中・高校生を対象に、公民館や地域のボランティア活動を通して、多世代との関わりの中で社会性を育み・認められることで、子どもたちの自己肯定感の向上につながる機会とする。また、子どもたち自身が、自分のやりたいこと・興味のあることにチャレンジできる機会をつくり、将来の地域を担う人材の育成に寄与する。

期間：令和4年6月1日（木）～ 令和5年2月19日（日）

時間：イベントや講座により変動有

場所：那覇市繁多川公民館とその周辺

対象：那覇市在住・在学の小中学生及び高校生

受講料：無料 定員：なし

申込人数：53人

参加延べ人数：107人

参加校：識名小学校／沖縄工業高校／寄宮中学校／興南高等学校

石田中学校／松城中学校／城北中学校／真和志高等学校／那覇商業高等学校

那覇みらい支援学校高等部／那覇西高等学校／泊高等学校／開邦高等学校／小禄高等学校

＜おたすけ隊＞



《繁多川まつりへのボランティア派遣》

期日	内 容	参加人数
6月19日（日）	「はんたがわプレーパーク」へボランティア参加	6人
7月～8月	「夏休みはんたがわプレーパーク」（全11回）へボランティア参加	31人
8月21日（日）	「はんた夢フェス」へボランティア参加	3人
10月16日（日）	繁多川自治会主催「繁多川まつり」へボランティア参加	7人
12月 3日（土）	繁多川自治会主催「豆腐の月」へボランティア参加	5人
12月25日（日）	三原区自治会主催「クリスマス会」へボランティア参加	4人
令和5年 1月14日（日）	繁多川自治会共催「新春もちつき会」へボランティア参加	36人
2月19日（日）	「はんたがわプレーパーク」へボランティア参加	2人

＜インターンシップ＞

期日	内 容	対象校	参加人数
7月5日（火）～7日（木）	講座・事業サポート、館内整備等	県立那覇商業高等学校	2人
9月27日（火）～29日（木）	講座・事業サポート、館内整備等	県立開邦高等学校	3人
10月4日（火）～ 6日（木）	講座・事業サポート、館内整備等	県立小禄高等学校	3人
通年	講座・事業サポート、館内整備等	県立真和志高等学校	5人

【参加者の声】

「インターンシップを通してさまざまな人と出会い、多くの人々からの貴重なお話などを通じて、公民館の役割や地域の人との交流の重要性を感じることができた」「ボランティア活動で、自分から積極的に参加者に話しかけることができてうれしかった」等の声が上がっている。

【まとめ】

今年度は、感染状況も落ち着いてきたためか、おたすけ隊の登録者数が多く積極性が感じられた。ただ、ひとり当たりの参加回数は控えめで、年間通して継続的に参加している者は少なかった。次年度は一斉のオリエンテーションと閉講式を復活させて、参加者の意欲を高める工夫をしていきたい。

5 家庭教育事業

[1] 家庭教育学級

繁多川おやこそだて園

趣旨：乳幼児の子どもと親を対象に地域の保育園と連携して公民館で出張保育を行い、親子で楽しめるプログラムの提供等、待機児童の親子や孤立しがちな子育て世代の居場所として、安心して子育てできる地域の拠点を目指す。また、参加者が関心のあることややってみたいことを企画として実施し、保護者が主体的に学べるきっかけとする。

期間：令和4年4月14日（木）～令和5年3月22日（水）10:00～12:00

場所：繁多川公民館 研修室／和室

対象：那覇市在住・在勤の親子

受講料：無料 定員：5組10名

申込人数：84人（うち受講決定人数84人）

参加延べ人数：448人

（定員を超えた際には部屋を広げて対応）

協力：識名さつき認定こども園、長田保育園
いしだ丘保育園、童夢認定こども園



《活動風景》

★★ 学習プログラム ★★

期日	内容	担当	参加人数
令和4年4月 ～ 令和5年3月	季節の製作、歌あそび、親子のスキンシップあそび、子育て相談、ベビーマッサージなど	識名さつき認定こども園、長田保育園、いしだ丘保育園、童夢認定こども園 大城直子先生	385人
6月8日（水）	特別企画 「ヨガ&ベビーマッサージ」 大人のヨガをメインに、時には子どもを抱っこして負荷をかけながら一緒に楽しむ	講師：新里千絵先生	10人
8月21日（日） 8月25日（木）	特別企画 「おさがりマーケット」 サイズアウトしたこども服を持ち寄り、必要な方が受け取る 特別企画 「離乳食と子どもの食育ワークショップ」 子どもの味覚を育てるための離乳食について学ぶ	繁多川公民館 講師：上地日花先生	23人 9人
令和5年 3月22日（水）	特別企画「乳幼児の救命救急について」 子どもに起こるケガや誤飲などいざという時の対処法と救命方法について学ぶ	講師：那覇市消防局	21人

【参加者の声】

「近所の保育園から来てくれて関わりをもつことができるので毎回勉強になっています」、「近い月齢の赤ちゃんとふれあえてゆっくり過ごせる場所があつてとてもありがとうございます」、「季節の製作は家にも飾れるし、毎回アイディアいっぱいです」、「初めてベビーマッサージをやったが、親子のコミュニケーションすごく良い。自宅でも続けてやりたいです」

【まとめ】

今年度で3年目を迎え、回を重ねるごとに多くの親子との出会いが増え、そこから公民館の他の事業への参加や保護者からの企画も生まれた。参加者から出た意見を特別企画として実施し、様々な学びの機会が生まれた。また、地域の赤ちゃん訪問員と連携し、講座の情報等を直接届けてもらえたことで、その後公民館への来館や講座への参加が多く見られた。次年度も乳幼児の親子の居場所として楽しく交流しながら開催していきたい。

6 その他の事業

[1] 地域連携事業

あたいぐわープロジェクト

- 趣 旨：沖縄在来種の青ヒグを子どもが育て、「昔の繁多川豆腐」を再現する中で、食文化の継承（味と製造過程）とさらなる地域の活性化に寄与する。
- 期 間：令和4年5月9日(月)～令和5年2月8日(水)
- 時 間：学習プログラムにて異なる（下記参照）
- 場 所：各小学校及び地域の畑
- 対 象：識名小学校／真地小学校／上間小学校／真和志小学校
地域の方
- 受講料：無料
- 定 員：なし 参加延べ人数：1020人
- 共 催：繁多川自治会／寄宮自治会／あたいぐわープロジェクト



《真和志小学校豆腐作り》

★★ 学習プログラム ★★

期 日	内 容	連携先	参加人数
4月20日(水) 8:30～10:00	種まき体験 オリエンテーション	真地小学校3学年	96人
7月14日(木) 9:00～12:00	オリエンテーション —地域の歴史について—	識名小学校3学年	129人
9月20日(火)～22日(木) 9:00～13:00	昔ながらの豆腐作り体験	上間小学校3学年	102人
10月20日(木)～21日(金) 9:00～12:00	オリエンテーション —豆腐について—	識名小学校3学年	129人
11月14日(月)～16日(水) 9:00～13:00	昔ながらの豆腐作り体験	真和志小学校3学年	93人
12月3日(土) 10:00～12:00	「第14回 豆腐の月」	繁多川自治会	150人
12月6日(火)～8日(木) 9:00～13:00	昔ながらの豆腐作り体験	識名小学校3学年	129人
12月22日(木) 9:30～11:00	クルマ棒打ち(脱穀)体験	真地小学校3学年	96人
令和5年 2月6日(月)～8日(水) 8:30～12:00	昔ながらの豆腐作り体験	真地小学校3学年	96人

【まとめ】

今年度より真和志小学校が加わり、4小学校での開催ができた。

識名小学校では、今まで1回しか行わなかったオリエンテーションを子ども達にもっと理解してもらえるように、「地域の歴史」と「豆腐について」の2回に分けて開催した。また、こまめに学校を訪れ子ども達に顔と名前を憶えてもらった。

豆腐作り等の体験活動には、子どもたちのサポート役として、地域の方や保護者が参加し、作業の合間に地域歴史や文化のお話をしたり、世代間で交流できる機会となった。

識名園友遊会

趣 旨：真和志地域の誇りである世界遺産・国指定特別名勝「識名園」を会場として活用し、青少年団体等における伝統文化の継承と新しい文化の創造、青少年の健全育成と地域の活性化および文化財保護の啓発を図ることを目的とする。

期 間：令和4年12月12日（月）（識名園友遊会実行委員会）
令和4年12月～令和5年3月（座学、実地研修、プレゼン発表）

場 所：真和志高校、興南高校、沖縄尚学高校（各高校にて企画製作座学研修）、識名園（実地研修）
識名園友遊会実行委員会（真和志支所地下1階）

対 象：真和志高校、興南高校、沖縄尚学高校、識名園友遊会実行委員会及び那覇市文化財課

参加延べ人数：100人

主 催：識名園友遊会実行委員会
共 催：那覇市

★★★ 高校生企画プレゼン資料（一部抜粋） ★★★

識名園へ人を集めるために、私たちは以下5つの方策を考えましたので、ご紹介したいと思います。
集客のターゲットは、若者にフォーカスしました。

○5つの方策

1. 毎週1回のライトアップ
2. ホタルを育てる
3. 月1回のマルシェ
4. YouTube広告
5. ナイトツアー

企画概要

10代・20代
キャラクター
コラボ
知名度のある
キャラクター やアイドル等
とコラボすることで
新たな層の獲得に

子ども・家族
スタンプラリー
識名園アプリ

地域マップ
アプリ内で
地域の飲食店などを
紹介！？

オンライン
スマホなどを活用することで、
用紙や設置などが必要なく、
長期間にわたって実施可能に。
フレキシブルな選用も可能に。

文化の紹介
スタンプ獲得の条件として
文化に関するクイズを出して
気づけば伝統文化マスターに

クーポン配布
達成した方に
地域で使えるクーポンを
配布することで、
参加するインセンティブ
にも、地域活性化にも。

長期的なアプローチ



アクションプラン

お絵描きコンテスト

子供たちに新しい発見をしてもらいたい

→挑戦しやすいお絵描きコンテストを開催！

→当時の情景や歴史を考える機会にもなる

【まとめ】

識名園友遊会は今年度も新型コロナウィルス感染拡大防止の観点からイベントとしては中止。代わりに好評だった前回の小禄中学校と連携した識名園活用企画発表の発展型として真和志地域の高校、那覇市文化財課と連携し、識名園に「県内の若い人が識名園に来る為には」という企画を学生が考え発表する小規模プレゼン大会が決定した。内容は西平博人氏（繁多川公民館）が企画制作座学、那覇市文化財課の職員が識名園を伝える実地研修、それらを学んだ学生が、識名園御殿で企画プレゼン提案を発表した。企画プレゼン発表では聴衆した大人も絶賛するような面白い企画提案がいくつも生まれた。結果として次世代への世界遺産識名園の啓発に繋がり、主催、共催側も新しい視点を知る良いきっかけとなつた。

今後はプレゼン企画を、識名園友遊会実行委員会、那覇市文化財課、提案いただいた学生とどう形にしていくかを検討していく。

真和志地区地域活性委員会

趣 旨：自治公民館及び自治会相互の連絡提携や学習活動等を通して、真和志地区の教育力の向上を図る。

期 日：役員会 令和4年9月22日(木)
 企業コラボ 令和4年11月21日(月)～12月15日(木)
 大九州物産展 令和4年12月8日(木)～11日(日)

場 所：役員会(真和志支所地下1階 会議室)
 大九州物産展(繁多川公民館3階 フロア)

対 象：真和志地区の各自治会会长並び会員、地域住民

参加延べ人数：役員会10人

<新規組織構成>

委 員 会：真和志地区自治会(40自治会)

委 員 長：西平 博人(真和志自治会会长連絡協議会副会長)

副委員長：門下 長徳(県営繁多川高層住宅自治会会长)

副委員長：比嘉 恭一(有限会社白バラ洋菓子店社長)

事務局長：南 信乃介(那覇市繁多川公民館長)

顧 問：大城 覚子(真和志支所支所長)

顧 問：田島 繁(真和志自治会会长連絡協議会会长)

顧 問：玉井 栄良(安里2区自治会会长)

顧 問：砂川 龍也(那覇市中央公民館館長)

相 談 役：宮城 能彦(沖縄大学)

相 談 役：濱川 尚志(那覇市地域包括支援センター繁多川)

相 談 役：座間味 亮(株式会社赤マルソウ社長)

相談役(新)：新本 博司(那覇市社会福祉協議会)

相談役(新)：中村 丘学(包括支援センター松川)

相談役(新)：大得 英之(包括支援センター松島)



《大九州物産展 in 繁多川公民館》



《白バラとの企業コラボチラシ》

【まとめ】

当委員会は、地域課題にアグレッシブに対応していく為に編成された真和志自治会会长連絡協議会の下部組織。役員は自治会長、地域企業、地域大学、包括支援センター、那覇市公民館、真和志支所といった多様なメンバーとなっている。

今年度は地域後継者育成助成金創設に向けた資金造成事業が行われた。前年度に引き続き、「大九州物産展」が繁多川公民館3階フロアで開催。白バラ洋菓子店との資金造成コラボ事業も行われた。

地域住民と繋がっている自治会の利点が上手く企業と繋がりとても面白い企画となった。次年度は更なる資金造成への取り組みと、助成金創設から後継者育成のサイクルを実際に動かしていく。

公民館フリースペース活用事業

趣 旨：地域住民の交流の場と情報交換ならびにコミュニケーションを深める場として、2階ロビーや3階ホワイエでの展示・利用、広場や屋上の活用などを行う。また、必要に応じて環境を整備していく。

期 間：令和4年4月～令和5年3月 時 間：9:00～22:00

場 所：那覇市繁多川公民館 2階ロビー、3階ホワイエ、階段掲示板、広場、屋上

見学延べ人数：約5,200人

★★ 展示内容 ★★

回	期間	タイトル	提供（協力）先
1	5月	令和3年度 地域計画活動報告展	地域計画福祉・防災部 地域計画教育部
2	7月	識名小学校 6年 平和学習作文展示	識名小学校
		七夕	知念敏子さん
3	8月	識名小学校 5年 平和学習新聞展示	識名小学校
4	11月21日(月) ～12月28日(水)	真地自治会 思い出の新聞展	真地自治会
5	12月8日(木) ～11日(日)	大九州物産展（3階ホワイエ）	真和志地区地域活性委員会
6	12月	季節展：クリスマスツリー	繁多川公民館
7	3月	季節展：雛人形	繁多川公民館
常設設置	通年	こども服のおさがりマーケット	地域住民
常設設置	通年	屋上の畠活用	いどばた学童クラブ 童夢児童クラブ
常設展示	通年	高齢者に関する啓発展示 ・認知症 ・口腔ケア ・熱中症 ・介護 ・虐待など	那覇市地域包括支援 センター松川・繁多川
常設展示	通年	・昔の暮らし展 ・昔ながらの豆腐づくり展 ・壕の中で発見された遺留品展	地域住民

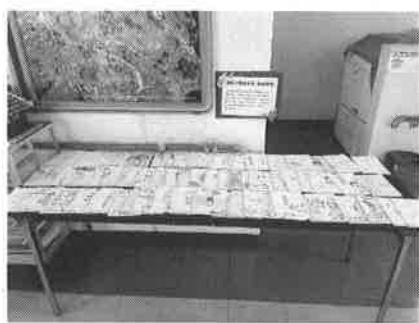


《 七 夕 》

【まとめ】



《 地域計画活動報告の展示 》



《 平和学習の作文展示 》

今年度は、地域包括支援センター繁多川と松川による展示を年間通して行った。毎月高齢者に関する様々なテーマの展示をすることで、利用者に普及・啓発することができた。また、学校と連携し、授業で子どもたちが作成した作品を公民館に展示し、多くの方に見てもらう機会となった。

識名小学校地域コーディネーター配置事業

趣 旨：社会に開かれた教育課程の実現や学校を拠点とした地域活性化を進めるために、学校教育と地域活動の活性化を目的とし、公民館職員1名を専門のコーディネーターとして配置する。

期 間：令和4年9月6日（火）～12月23日（金）
毎週火曜日9:00～12:00、毎週金曜日13:30～16:30

場 所：那覇市立識名小学校内地域連携室

対 象：識名小学校全児童、地域住民

参加延べ人数：約100人

期 間	内 容	備 考
9月6日（火）～ 12月23日（金）	・授業連携 ・地域連携室の活用 ・地域での児童受け入れ ・受け入れ先の開拓	実施回数：31回
令和5年 2月24日（金） 14:00～15:30	識名小学校地域コーディネーター 報告会	場 所：識名小学校地域連携室 参加者：自治会、関係課 社会教育関係者など

【まとめ】

学校を核とした地域づくりを目指して、今年度モデル事業として実施しました。学校の中に地域コーディネーターとして公民館職員が入ることで地域と学校の連携が促進され、授業連携に向けた先生方との打合せや相談、気になる児童のフォローと地域へのつなぎがとてもスムーズにできることが分かりました。また、地域連携室を地域団体や住民が活用できるよう調整も進んでいます。次年度も地域と学校が活性化していく活動を展開ていきたいと思います。

学校連携 性教育授業

趣 旨：子どもが自分の心やからだについて知ることは、「自分を大切にする」という心を育て、正しい知識をもつことで他者との関わり方を学び、いじめや性被害を予防し生きる力につながる。そのことを授業の中で子どもたちが学べるように公民館が専門講師を派遣し、実施に向けてコーディネートを行う。

期 間：令和4年5月16日（月）～令和5年1月26日（木）

場 所：那覇市立識名小学校、那覇市立寄宮中学校、那覇市立松城中学校

対 象：識名小学校（2年、5年、6年）、寄宮中学校（全校生徒、教職員）、松城中学校（3年）

参加延べ人数：1, 131人

期 日	内 容	備 考	参加人数
5月16日（月）・17日（火） 18日（水）・19日（木） 令和5年1月25日（水）	小学校・中学校向け 「こころとからだを大切に するために～性の健康教育～」	講師 徳永 桂子氏 (思春期保健相談士)	1, 100人
令和5年1月26日（木）	教職員向け 「性の健康教育の必要性 ～子どもたちを守るために～」		31人

【参加者の声】

中学生の参加者からは「自分が悩んでいたこと、知りたかったことが聞けた」という声があり、先生からも「初めて知ることが多かった。子どもへの対応の仕方で悩むことがあった。今後に生かせる内容ばかりだった」との声があった。

【まとめ】

学校における性教育の必要性を強く感じました。子どもたちはもちろん、子どもと関わる大人（教職員、保護者など）も学べる機会を増やし、次年度も学校での継続と発展を目指す。

新春もちつき会

趣旨：地域で活動する団体や若者たちと連携して、地域の人々が交流を深めることのできる「新春もちつき会」を開催し、地域力の活性化をめざす。また、地域や近隣で健全育成や文化継承を行っている団体に、活動発表の場を提供し、今後の活動の発展を願い、来館者が伝統文化に触れる機会とする。

期日：令和5年1月 4日（水） ボランティア説明会・事前準備

1月14日（土） 新春もちつき会

場所：那覇市繁多川公民館 3階ホール、2階実習室・研修室

対象：繁多川地域周辺の方 受講料：無料 ※マイ食器持参 定員：なし

参加延べ人数：200名（ボランティア28名）

共催：繁多川自治会

出演団体：繁多川子どもも会 はばたき、真和志高校手話部

ボランティア参加校：沖縄工業高校、真和志高校、那覇商業高校、那覇西高校、泊高校、寄宮中学校
松城中学校、城北中学校

★★ プログラム ★★

8:45～10:00	会場準備、リハーサル
	オープニング エイサー（繁多川子どもも会 はばたき）
10:00～12:00	手話パフォーマンス（真和志高校手話部） もちつき体験・交流 繁多川かるた会
13:00～14:00	片付け、ボランティア振り返り会



《真和志高校手話部》



《ワクワクのもちつき体験》



《調理担当の中高生ボランティア》



《かるた遊びに白熱！》

【参加者の声】

- ・ほかの学校や地域の方と交流できて楽しかった（ボランティアスタッフ）。
- ・子どもにもちつき体験をさせることができて嬉しい。（参加者）
- ・地域の行事でパフォーマンスを披露することができる機会はありがたい。（出演団体）

【まとめ】

コロナ対策の工夫として、もののトッピングは控えることにし、加熱したぜんざいの形でもちを提供した。旧暦行事との兼ね合いで正月を過ぎてのもちつき会開催となったが、特に親子連れが多く訪れ、もちつき会の活気が復活した実感があった。自治会員と中高生ボランティアとが協力して、たくさんのもちつき体験とぜんざいを参加者に提供することができ、かるた会も中高生ボランティアの進行で盛り上がった。次年度は日程を調整して、成人式実行委員会との連携も復活させたい。

〔2〕 学社融合事業

キャリア教育プロジェクト

趣 旨：今後の進路や働くとは何か？現職の講師との世代間交流を行いコミュニケーション能力や社会対応能力を身につけ、個人の視野を広げる事により成長や自信を深め、未来を担う人材育成を行う。
平和学習では、戦争体験者から体験談を話すことによって、戦争の悲惨を後世へ伝える。地域の歴史散策により、地域への親しみを感じ地域活性化に寄与する。

期 間：令和4年6月1日（水）～令和5年2月3日（金）
時 間：授業時間帯に実施
場 所：那覇市繁多川公民館及び各中学校
対 象：那覇市立小中学校／県外の小学校
受 講 料：無料
定 員：なし
参加延べ人数：1, 355人



★★ 学習プログラム ★★

《寄宮中学校2学年専門家にインタビュー》

期 日	内 容	参加人数
6月 1日(水) 6月 9日(木) 6月 16日(木)	「沖縄戦について」@那覇市立識名小学校5学年	116人
6月 3日(金) 6月 10日(金) 6月 17日(金) 6月 24日(金) 7月 15日(金)	那覇市立石田中学校2学年 <ul style="list-style-type: none"> ・歴史講話(講師:繁多川公民館職員) ・自治会長講話(繁多川自治会、真地自治会、上間自治会) ・企業人講話 ・地域まーい(繁多川地域、真地地域、上間地域) ・学習発表会 	159人
6月 9日(木)	「沖縄戦について」@那覇市立石田中学校全校生徒	430人
7月 1日(金)	お仕事先生講話@那覇市立石田中学校1学年 お仕事先生講話@那覇市立寄宮中学校1学年	134人 165人
9月 1日(木) 9月 14日(水) 9月 21日(水)	鳥取県琴浦町立聖郷小学校 <ul style="list-style-type: none"> ・太平洋戦争と沖縄戦 ・那覇市繁多川で見た経験した地上戦 ・沖縄県知事や住民もいた壕に入ってみよう 	35人
令和5年 1月 13日(金) 2月 3日(金)	那覇市寄宮中学校2学年 <ul style="list-style-type: none"> ・寄未知タイム「沖縄探求・専門家にインタビュー」 ・寄未知博「総合的な学習の時間発表会」 	182人
1月 27日(金)	那覇市立石田中学校1学年職場体験	134人

【まとめ】

平和学習では、限られた時間で学びが深まるよう体験者との対話を重視し、プログラムに活かすことができた。オンライン授業での経験を活かして、県外の子どもたちにも波及することができた。また中学校のキャリア教育では新しい形の探求学習にどの学校もチャレンジしており、生徒がテーマを決める探究学習に応える専門家のコーディネート調整が難しかった。しかし、生徒の学びの深まりや高い意欲が見られ、先生方の反応もよかったです。今後、こういった地域や企業と連携した授業づくりのためのコーディネートニーズが増えていくかもしれません。

**〔3〕 プロポーザル事業
コミュニティー支援**

地域計画 教育部

趣 旨：「地域の子どもは地域で育む」をスローガンに、識名小校区のすべての児童が放課後を安全・安心に過ごせるように、学校・地域・行政が連携して取り組むことを目指し、現状把握や事業の検討・実施などを包括的に行えるような議論の場を設ける「識名小放課後子ども総合プラン会議」、居場所づくりの実践「プレーパーク」を実施する。

期 間：令和4年6月17日（金）～令和5年3月31日（金）会議2回、プレーパーク32回

時 間：下記参照

場 所：那覇市繁多川公民館、那覇市立識名小学校、沖縄大学

対 象：識名小学校、識名小PTSA、民生委員児童委員、家庭教育支援員、識名児童クラブ、童夢児童クラブ、いどばた学童クラブ、識名さつき学童クラブ、識名児童館、繁多川自治会、識名自治会、識名1丁目自治会、県営繁多川高層住宅自治会、繁多川市営住宅自治会、子ども政策課、生涯学習課、近隣住民

参加延べ人数：45人

★★ 学習プログラム ★★

期 日	内 容	参加人数
6月17日（金） 10:30～12:00	会議（放課後の現状共有・事業計画・識名小新校舎建設について）	25人
3月 9日（木） 10:30～12:00	会議（放課後の現状共有・識名小内児童クラブについて）	20人
共催事業		
6月19日（日） ～3月31日（金） 10:00～12:00	内容：泥んこ遊び、木工、ロープ遊び、昔遊び、ムチ一づくり、火おこし等	
12月11日（日） 9:00～12:00	「出張プレーパーク in 沖縄大学（子どもの権利条約フォーラム2022）」 共催：沖縄プレーパークねっと 内容：火おこし、木工、ロープ遊び、昔遊び等	
令和5年 2月19日（日） 9:00～17:00	「プレーパークの可能性と子どもの居場所についてさぐる Special DAY」 主催：NPO法人1万人井戸端会議 内容：プレーパーク、映画「ゆめパのじかん」上映会、講演会	
3月4日（土） 10:00～12:00	「出張プレーパーク in 識名小学校」 主催：識名小学校PTSA 内容：火おこし、ロープ遊び、みず遊び、昔遊び、木工遊びなど	



《ワークショップの様子》



《出張プレーパーク in 沖縄大学》



《講演会&対談の様子》

【参加者の声】

プレーパークの参加者からは「初めて自分で火をおこせた！」と喜ぶ子どもの姿や、「地域にこういう場所があって助かる」といった保護者の声があった。

【まとめ】

識名小放課後総合プラン会議の中で、放課後の子どもたちの過ごし方について考えるワークショップを行い、その中から出た意見をアクションにつなげることができた。プレーパークについても、夏休みは週に3回の開催や出張プレーパークを実施したことで、多くの子どもの参加が見られ、関心の高まりを感じた。

地域計画 福祉・防災部

趣 旨：少子高齢化の中、財政の厳しさも増し、公共が担い続けられる事業も縮小傾向にある。また、新型コロナウイルス感染症の流行により、さらに高齢者の孤立、孤独死、多くの課題を抱える家庭、働いても働いても暮らしが改善しないワーキングプアなど、子どもの29.9%が貧困という現状の中、地域ネットワークを活かし住民自らの手でできる課題解決に寄与する。

期 間：令和4年4月～令和5年3月

時 間：実施内容により異なる

場 所：繁多川公民館およびその周辺

対 象：那覇市在住・在勤・在学及び興味のある人

受 講 料：無料 定員：なし

参加延べ人数：276人（視聴回数225回）

共 催：那覇市地域包括支援センター繁多川

協 力：繁多川自治会、県営繁多川高層住宅自治会
繁多川市営住宅自治会、那覇市防災危機管理課
那覇市まちなみ整備課、琉球大学清水研究室



《防災まちあるき in 繁多川1丁目》

★★ 学習プログラム（一部抜粋） ★★

期 日	内 容	参加人数 (視聴回数)
4月	シェアマーケットキャラバン（識名3丁目）	20人
	若狭公民館と防災の取組みについての情報交換会	30人
5月	シェアマーケットキャラバン（識名3丁目）	20人
	地域情報発信サポート 「ちむぐくるに乾杯！～第9回 王朝食パン 識名園～」	(111回)
9月	防災まちあるき①	20人
10月	防災まちあるき②～③	40人
11月	若手会～火を囲んでユンタク会～	70人
12月	地域情報発信サポート「ちむぐくるに乾杯！～第10回 Y&Mクッキング【クファジューシー】～」	(114回)
令和4年 1月	シェアマーケットキャラバン（識名老人福祉センター）	20人
2月	地域計画策定会議～地域計画評価・次年度計画検討～	40人
3月	地域計画キックオフイベント	16人

【まとめ】

月1回のシェアマーケットでは、3ヵ月連続同じ場所で実施し参加者の定着を目指したが、コロナも減少傾向にあり、ディサービスなども再開したことから参加者は増えなかった。

防災まちあるきは、5年前に実施した1丁目で行った。今回は車いすを使用してまちあるきを行い、障害がある人を避難させることができ、どんなに大変かということを知ることができてよかったです。

次年度は、学校などの避難所を巻き込み訓練ができればと思う。



《若手会：火を囲んでユンタク会》

グローバル公民館 エジプトとグローバルミーティング

趣 旨：「アラブの春」後の民主化が起ったエジプトで、日本の民主化を支えた公民館設立に貢献し、公民館の活用の幅を広げ社会教育を促進する。また、合同講座グローバル公民館を開講し、相互のまなびあいを通してグローバル人材の育成とする。

期 間：下記プログラム参照 **場所**：繁多川公民館およびその周辺、エジプトカイロ近郊
対 象：那覇市在住・在勤及び興味関心のある方 **受講料**：各講座により異なる
定 員：各講座により異なる **参加延べ人数**：67人

★★ 学習プログラム ★★

期 日	内 容	講 師 ／ 備 考	参加人数
4月23日（土） 4月30日（土） 5月 7日（土） 16:00～18:00	「マンガを語ろう！ with エジプト Taa 公民館」	共催：Egyptian 公民館 講師：なし 全3回	22人
5月14日（土） 5月28日（土） 16:00～18:00	「エジプトについて学ぼう」 第1回 ～ツタンカーメンとその墓の謎～ 第2回 ～ニンニクパワーとピラミッド～ ピラミッド建設に隠されたニンニクの秘密	共催：Egyptian 公民館 講師：ハッサン・カーメル・アハマド（エジプトガイド専門家） 講師：エマード・エルガブリー（エジプトガイド専門家） 全2回	12人
8月 6日（土） 16:00～18:00 8月13日（土） 10:00～11:00	「リトルエジプト博士ちゃんになろう」	共催：Egyptian 公民館 講師：エマード・エルガブリー（エジプトガイド専門家） 全2回	14人
令和5年 3月25日（土） 19:00～21:00	「エジプトの書道と日本の書道を体験しよう」	共催：Egyptian 公民館 講師：ハゼム・アルセンディオニー（アラビア書道家）	19人



《マンガを語ろう with エジプト Taa 公民館》



《エジプトの書道と日本の書道を体験しよう》

【参加者の声】

- ・エジプトに行ってみたくなった。 •エジプトが身近に感じました。
- ・次回も参加したい。 •同年代の友達が欲しい。

【まとめ】

今年は、現地の担当者と密に連絡を取り合い数多くの講座を実施することができた。時差の関係上、開催曜日や時間が限られたが、アーカイブ視聴など様々な参加方法を用いたことで、新規の参加者が増加した。また、大人向けの講座の際に、アンケートにて「子ども向けの講座も開催して欲しい」という声も上がり、実際に子ども向け講座を開催することができた。次年度も Egyptian 公民館と協力し、様々な講座を実施する。

7 公民館まつり

第16回 繁多川公民館まつり『利用団体成果発表』

趣 旨： 公民館利用団体連絡会主催で運営し、学習成果発表（舞台・作品展示）を中心に、サークル間の交流や情報の共有を目指す。また、地域へ開かれた公民館活動を認知してもらう機会とする。

期 間： 令和4年10月22日（土）、令和5年2月12日（日）

時 間： 13:00～17:00

場 所： 繁多川公民館3階ホール、2階研修室

主 催： 繁多川公民館利用団体連絡会

共 催： 那霸市繁多川公民館

参加延べ人数：400人

期 日	内 容	参加団体数	参加人数
令和4年10月22日（土）	舞台発表、展示発表、サークル体験会	12団体	200人
令和5年 2月12日（日）	舞台発表、展示発表	20団体	200人



